

2020年11月12日

「横浜“発・初”イノベーションプロジェクト」 【相鉄×高島屋アクセラレーションプログラム】（第4期） ベンチャー企業5社を採択、デモデイを開催

相 鉄 グ ル ー プ
 株 式 会 社 高 島 屋
 横 浜 市

相鉄グループと㈱高島屋は、横浜駅西口地区の活性化に向けてベンチャー企業との協業を目指す「アクセラレーションプログラム」に取り組んでおり、2020年10月27日に「デモデイ」を開催しました。

未来に向けた新しい技術・サービスの創造に向け、また、昨今の状況を踏まえベンチャー企業の支援につながる取り組みとして実施した今回で第4期となるアクセラレーションプログラムでは、課題テーマ枠「①商業をアップデート」「②生活をアップデート」「③宿泊をアップデート」「④企業をアップデート」と、自由テーマ枠「相鉄グループと高島屋の持つ豊富なリソースをもとに設定した横浜駅西口や商業施設におけるビジネスプランを提案する」を設定。2020年6月11日から8月17日まで協業いただけるベンチャー企業を募集し、合計38社の応募の中から、5社を採択しました。

10月27日には、新型コロナウイルスの感染防止策を講じた上でデモデイを開催し、採択された5社が提案内容をプレゼンテーション。相鉄グループ、高島屋、横浜市、㈱三井住友銀行による審査の結果、㈱Ringfishが審査委員賞を受賞しました。今後は、相鉄グループ、高島屋でさらなる精査を進め、相鉄グループと高島屋の持つリソースを使った実証実験の実施などに取り組んでいく予定です。なお、デモデイにおける登壇各社の提案・プレゼンの様子は、11月13日（金）にオフィシャルウェブサイト上に公開し、どなたでもご覧いただけます。

今後も相鉄グループと高島屋は、ベンチャー企業との協業により横浜からイノベーションの創出を加速します。

概要は、別紙のとおりです。



アクセラレーションプログラム（第4期）「デモデイ」の様子

アクセラレーションプログラム（第4期）の概要

1. 「横浜“発・初”イノベーションプロジェクト」とは

横浜を訪れる皆様にとって便利で楽しい時間を過ごせる「高感度」かつ「好感度」な“まちづくり”の実現を目指し、相鉄グループと高島屋が「アクセラレーションプログラム」を共同で開催し、横浜駅西口地区の活性化に向けてベンチャー企業と協業で新たなサービスや機能・商品を創出する取り組み。

2016年に初めて開催し、これまでに16社の提案を採択、相鉄グループや高島屋での実証実験を行い、一部は実用化に至りました。

2. 採択企業

6月11日から8月17日までの応募期間中に、38社から提案をいただき、面談審査を経て、協業内容を検討してきました。その結果、5社を採択しました。

採択企業には、相鉄グループと高島屋横浜店で導入または実証実験（テストマーケティング含む）やアドバイスなどの支援を行います。

■採択企業一覧

企業名	事業概要
ミノージャパン株式会社	デリバリーの生産性を飛躍的に向上させることで、食の環境を劇的に改善するIoTを駆使したフードテック。登録ユーザーからオーダーされたランチボックスを、Minnow Pod（温度維持機能付きのロッカー状ボックス）へデリバリーするサービス。
株式会社 Ringfish	色々なお店で子供に「お題」を出題し、親がサポートしながら解決することで子供の成長を促すアプリ。
株式会社 アドインテ	ウェブとリアルを融合したOMOソリューション（ビーコン使用のセンシング提案）。個人情報取得することなくWi-Fi設定onのスマホ端末の計測が可能。取得した情報はDMPに格納し、CRMとの連携によりユーザーへのONE to ONE施策やさまざまなマーケティング施策に活用が可能。
シーレ株式会社	30分でスーパーから食材を配達する、買物代行プラットフォーム「Siile」の企画、開発、運営。 登録ユーザーがアプリから購入したい商品をオーダーすると、Siileスタッフがスーパーで購入・ご自宅へ配達するサービス。ネットスーパー構築をせず宅配ができ、地域密着のサービスが可能。
エアーサクセスジャパン株式会社	特許取得したオンリーワン技術を搭載した「除菌消臭機」の開発・製造・販売。

3. 受賞会社

審査委員賞：(株)Ringfish

特別賞：(株)アドインテ、エアーサクセスジャパン(株)、シーレ(株)、ミノージャパン(株)（50音順）

4. オフィシャルウェブサイト

デモデイの様子や採択企業などをご覧ください。

2020年11月13日（金）10時からデモデイの動画を公開

<https://www.sotetsu-takashimaya-ap.com/>



オフィシャルウェブサイト

■「イノベーション都市・横浜」・YOXO（よくぞ）■

横浜市は、2019年1月、市内企業や大学等との連携により、街ぐるみで人材交流やビジネス創出等に取り組む「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

ヨコハマ・クロスオーバー「YOXO(よくぞ)」の旗印の下、国のスタートアップエコシステム「グローバル拠点都市」の選定を受け、スタートアップ・企業・大学等の連携により、新たなビジネスを生み出す環境づくりを加速させていきます。



相鉄×高島屋アクセラレーションプログラム 主な取り組み実績

① ㈱バカン（第1期）

2018年2月から、横浜駅西口の相鉄ジョイナスおよび高島屋横浜店において、各施設内に点在する複数のレストランやカフェの空席状況が一目でわかるデジタルサイネージを設置。カメラを用いた画像解析やセンサーにより、それぞれの店舗の空席や行列の状況をクラウドで一括管理し、その情報をデジタルサイネージへ表示し、お客さまにあらかじめ店舗の混雑情報をご案内するサービスを展開しています。



デジタルサイネージで
VACAN を表示

② ㈱アクアビットスパイラルズ（第2期）

2019年4月から、相鉄ジョイナスの館内案内板など約40カ所に「スマートプレート」を設置。

非接触型ICタグを内蔵したプレート状のデバイスにスマートフォンをかざすだけで、簡単に商業施設などの情報が得られ、お客さまの利便性向上を図るとともに満足度の高いサービスを提供しています。



スマートプレート

③ ㈱Super Duper（第2期）

2019年5月から、相鉄ジョイナスの複数のレストランやカフェでチャット型のAIレストランメニュー「Satisfood」を導入。外国人のお客さまが自身のスマートフォンでQRコードを読み取ると、こだわりメニューや料理に合うお酒の提案などを多言語〔英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語〕で行います。毎日のお食事を日本の食文化体験の機会とすることで満足度をアップし、口コミを介して横浜駅西口エリアの食体験を世界中に発信しています。



多言語でメニューを表示する
「Satisfood」